

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	知って得する高尾周辺情報「高尾界限」出版本		
団体名	特定非営利活動法人著作権協会		
事業費	2,010,000円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	<p>目的 高尾といえば高尾山が有名ですが、高尾駅周辺には地元の方ですらまだまだ知られていないところが沢山あります。また地域に貢献した多くの方々や埋もれてしまっている歴史などが、あまり記録が残されていないのが実情です。そこで高尾駅周辺の最新版の情報として地域のお年寄りの方々等のご協力を得て取材、調査等を重ね一冊の本として記録出版を目的にしました。</p>
	<p>内容 主な内容としては高尾駅を中心として東西南北に分け高尾駅南口の菅原道真公の銅像、高尾の城、初沢城跡、高乗寺、大光寺、高乗寺、その他の史跡紹介。高尾駅北口の高尾山、サクラ保存林、八王子城址、熊野神社、武蔵綾、銀杏並木、昭和の日制定記念遊歩道、その他の史跡紹介。高尾駅から高尾山までの山歩きコース、高尾駅から小仏などのコース、高尾山コースなどの紹介。また高尾のまちの人物伝として中里介山、関東綱五郎、ポール・コックス先生、その他を調査、紹介しました。</p>

事業の活動実績	<p>※主な事業の活動実績としては本書の「高尾界限」が発行されたことにより、高尾周辺の新しい情報が次々に集まってきたことです。</p> <p>※また本書は「高尾周辺の歴史委員会」と地域の高齢者の方々の情報提供により完成したのですが、本書発行がきっかけで会員数が情報提供とともに増えてきました。</p> <p>※本書発行は平成20年12月10日(当所10月予定)と予定より大幅に発行が遅れてしまいましたが地域の書店のほとんどで置かれるようになりました。これは地域誌ということでもよりの書店等に数か月働きかけ、八王子駅前の三省堂、くまざわ書店、有燐堂書店、京王線沿線の啓文堂書店などです。これは自費出版に近いものの中で珍しいケースと言われています。</p> <p>※また地域の小学校、中学校や図書館等に贈呈させていただき一部小学校では授業等で利用していただいております。</p> <p>※高尾地域の商店会や地元町会等での購入、宣伝のPRなどのご協力を平成21年度の2月より開始し、同月の朝日タウンズ等で掲載されました。</p> <p>※本書「高尾界限」本がきっかけで現在クリエート等の市施設にて高尾周辺の歴史講座等を開始しはじめました。</p> <p>※現在での正確な販売実績等はまだ発行より約3か月あまりのため、まだつかめませんが地道ながら少しずつ多くの方々のお手にふれつつあるようです。</p>
---------	---



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>1-「高尾界限」本の発行後様々な問い合わせ、資料の請求が増えてきました。</p> <p>2-「高尾周辺の歴史委員会」に新しい情報提供者や資料提供者が増えてきており今後の活動が行いやすくなりました。</p> <p>3-「高尾周辺の歴史委員会」の新会員等が増えてきました。</p> <p>4-高尾周辺の歴史、人物などの散策する方々が増えてきました。これは問い合わせ、相談等があるためこれらの状況が掴みやすくなったことです。</p> <p>5-たとえば高尾駅の南口の菅原道真公銅像見学や昭和の日制定記念の遊歩道、高尾周辺の神社、お寺めぐりなどです。</p> <p>6-近隣の小学校、中学校などに贈呈した本についての教材、授業などに活用され、貸出率が増えているとのこと。</p> <p>7-高尾周辺の歴史講座等を市施設などをお借りしての高尾の歴史講座を始めました。</p> <p>8-地域から「高尾界限」本の続編としての第2号の声が上がっています。</p> <p>9-地域から「恩方界限」本の声が上がっています。</p> <p>10-一部高尾界限」本の人物伝の中で記念碑等の声が上がっています。</p> <p>※本の発行部数は1000部製作し、販売数620冊、贈呈130冊です。贈呈先に関しては浅川小学校、東浅川小学校、地域の幼稚園や八王子市、八王子中央図書館、本の奥付に記載されている高尾南北自由通路促進委員会、高尾駅100年祭実行委員会、取材先関係者、取材協力者などです。残の250冊は現在、各書店に置かれています。</p> <p>※また、反省点としては、本を書店等で販売を行うことで、東販や日販、書店取次店等に手数料などが発生してしまい、当初1400円で販売する考えでしたが、1800円となってしまいました。</p> <p>※宣伝に関してはチラシを10000枚印刷し、八王子市のご協力により、市内全市民センターに配布し、地域の商店会、図書館などにおかせていただきました。これは新聞折り込みとは異なり、ある一定の期間に置かせていただき、長い配布期間が設けられたことにより宣伝面の強化、販売の手助けになりました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 <input type="radio"/> 概ねできた 3 <input type="radio"/> あまりできなかった 4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 <input type="radio"/> 概ねできた 3 <input type="radio"/> あまりできなかった 4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input type="radio"/> ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 <input type="radio"/> 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>※当初予定していました消耗品費に関して関係業者のサービス等により、個人負担が無くなり内訳の変更となりました。主な内容としては、写真プリント、CD等の各メディア品、コピー費、プリント費など。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>高尾地域において小学校、中学校等の子供たちの目に触れ、読んでもらい、高尾の歴史や先人の方々のことが伝えられることができ多くの作者の方々、資料、情報提供者にとつてこれほど嬉しいことはありませんでした。まだまだ無限に近い地域の歴史や情報を伝える責任等を感じています。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

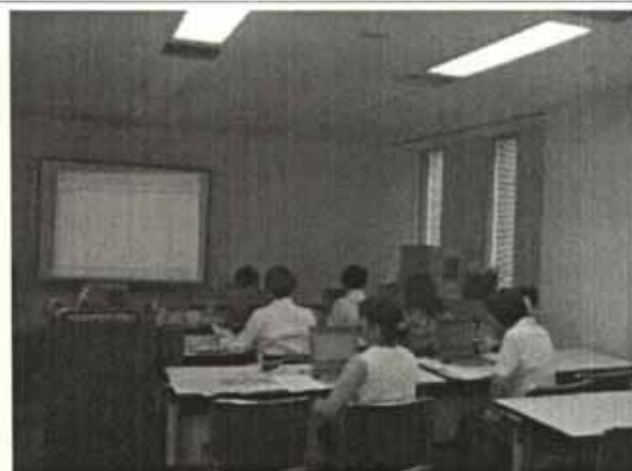
今後の事業展開	<p>今後の事業展開としては現在出版した本の販売に反省点をふくめて広がりをめざし、さらに第2巻、第3巻とシリーズかしてまだまだ眠っている地域の知られていない歴史や人物等の記録に重点を置き、地域に役立つ、残す記録になることを目指しています。</p>
---------	---

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	女性のための市民活動スタート応援事業		
団体名	特定非営利活動法人 エンツリー		
事業費	555,084円	補助金額	261,000円

事業の目的・内容	<p>【目的】エンツリーは、平成17年に八王子市男女共同参画センターと(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩との共催で開講された「女性のためのキャリアアップコーディネーター養成講座」の修了生を中心とするグループである。自分たちが講座終了後何かをしたいと思って集まった時に、思い切って相談した行政やそれに関わる方々からの情報・アドバイスが、いかに有効であったかを痛感している。このことから当事業は、これから市民活動にかかわろうとする女性たちに、エンツリーの経験を加味した、より幅広く実際に役に立つ情報・ノウハウを伝えていくサポートを実現することを目的とした。</p>
	<p>【内容】現在、自治体主催などで数多くの講座が行われているが、その講座を修了した人が、ただ単に学んで終わってしまうのではなく、学んだことを何らかの形で社会に還元し、実際に活動していけるようになるための幅広いサポートを実現する。具体的には以下の3点の活動を行なった。【1】個人またはグループで市民活動を始めようとする女性たちのための情報を掲載したハンドブックの作成、頒布。【2】市民活動を始めるにあたってのさまざまな相談のできる相談コーナーの設置。【3】相談の内容に応じたオーダーメイドのミニ講座(PCスキルなど)の開講。</p>

事業の活動実績	<p>ハンドブック 【まるごと八王子の使い方】 4月～10月取材、執筆、校正作業。 11月発行(500部)市内各事務所、市民センター、取材先などに配布。 インターネット新聞JANJAN、アサヒタウンズ、東京新聞に記事掲載。 八王子テレメディアにて放映。 現在くまざわ書店、啓文堂八王子市内各店舗、西八王子磯間書店、八王子市市役所内売店にて販売中。八王子市図書館にて10冊購入。</p>
	<p>市民活動相談コーナー【はじめの一步相談コーナー】 5月～21年3月の間、21回実施。 八王子市生涯学習センター内学習室他。 相談者 のべ 16組(27名) オーダーメイドミニ講座 初心者メール講座、エクセルで作るチラシ講座、ワードで作るチラシ講座開講。 参加者 のべ 3組(21名)</p>



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>ハンドブックの作成については、当初の企画通り、エンツリーならではのハンドブックの完成を目指すため、メンバー間で聞き取りシートの作成から着手した。年齢層もキャリアもスキルも多様なエンツリーのメンバー構成を十分に生かし、子育て中や、中高年世代、高齢者に至るまでのそれぞれの世代の視点を生かしたシートをもとに取材に出かけた。【市民企画事業】ということで、取材先のみならずさまに快く応じていただけたことが多く、飛び込み取材に不慣れな身としては大変ありがたかった。取材結果を共有することでメンバー自身が八王子市の状況や行政の仕組みなどを身近に感じられたことも大きな成果と考えている。</p> <p>「はじめの一步相談コーナー」にはまさにエンツリーが想定した相談者「講座や学びを終えた後、具体的に何をどうしていいかわからない」と迷っている方々の相談が多く、実際に相談コーナーの会場だけでなく、メールのやりとりなどでも相談に乗らせていただいたが、その方たちの行動を起こす基盤として、この「市民企画補助金事業」の紹介をすることも多く、また実際に、今年度応募したというグループが複数あった。</p> <p>オーダーメイドミニ講座については、相談者のグループ内での日程がなかなか合わず、開催回数は少なくなってしまったが、講座アンケートでは、既成の講座にはない講座として大変ご好評をいただいている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 収入については、現在書店に委託分の集計がまだ未集計のため、事業として赤字となり、団体からの繰入金が増加した。経費については、ほぼ計画通りとなった。
	その他、評価すべき点等	ハンドブックは、本来「女性が市民活動を始める第一歩」として企画、出版したが、出版後の問い合わせはほとんどが中高年と思われる男性からであった。定年後地域で社会活動を始めようとする男性にとって「とてもわかりやすく使いやすい本だからぜひ買いたい」というお声を多くいただいたことは予想外のうれしい成果であった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>ハンドブックをより広い層の読者に読んでいただくため、一層の広報活動を進めていきたい。</p> <p>相談コーナー、オーダーメイドミニ講座については、今後は当団体が運営を受託している「八王子市親子つどいの広場堀之内」内で、随時開催していきたいと考えている。</p>
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	みんなで作る子育てマップ		
団体名	おおきに		
事業費	1,736,121円	補助金額	868,000円

事業の目的・内容	<p>目的 インターネットなどにより情報が溢れているといわれていますが、実際子育て中の親たちに本当に欲しい情報が届いているでしょうか？また、情報社会の中に育っている若い親たちも人と人ふれあい、つながりを求めています。マップ作りを通して、情報を提供するだけに止まらず、ともに活動することで、新たな人と人の繋がりを創る事も大きな目的です。</p>
	<p>内容 今まさに子育て真最中の親たちに呼びかけ、自分自身が必要とする地域の子育てに関する情報を自ら調べ、持ち寄ってもらいます。その情報を分析し、ニーズにあった情報を地図上に落として、子育て必須のマップを作成します。</p>

事業の活動実績	<p>子育てママたちが楽しく子育てできるように、気軽に外出してもらいたいとの思いで、始まった企画でした。子ども家庭支援センターをはじめ、市内公共施設にておこなった子育て中のママたちへのアンケートは450枚を超える回答をいただきました。また、その中から編集委員、情報探検隊と直接マップ作りに参加していただきました。正にみんなで作る子育てマップを作ることが出来たと思っています。また、デザインは造形大学の学生グループと共同して、斬新なマップになったと自負しております。</p> <p>10,000部印刷の内5000部は市に寄付いたしました。残りは掲載店にて委託販売予定です。</p>
---------	---

マップ表紙



2009.5.5 読売新聞 多摩版



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> * アンケートによって、子育て中のママやパパの方々のニーズにあった情報が掲載することが出来た * 編集委員会や情報探偵に参加を申し込んでいただいたママたちは20人を超え、みんなで作ることが出来た。 * デザイン、レイアウトは造形大学の学生と共同して行い、学生とのコラボレーションが実現した。 * 商店の方々にも興味を持ってもらうことが出来、子育て連れで出かけられる場所が増えた。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>.....</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>.....</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>.....</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>5000部から10,000部に変更し、半数を八王子市に寄付したため、印刷費・消耗品費が多少多くなった。その代わりに、アンケートや地図の発送を行わず、車両にて運搬した。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>八王子市子ども家庭支援センターの広場、親子つどいの広場、児童館、保健センター等での無料配布を行い、早々に手渡すことが出来た。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>HPでの情報公開を考えている。</p>
---------	------------------------

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	こころのびのびコミュニケーション		
団体名	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場		
事業費	689,906円	補助金額	344,000円

事業の目的・内容	<p>目的:</p> <p>定期的に乳幼児の親子向け遊び体験を企画してきた経験の中で、子どもと遊びあうことに関心が薄い親世代が増えてきたのではないかしらと感じ、このことが人とのつながりが上手に作れない子どもが増えている原因の一つではないかと危機感を持ちました。</p> <p>乳幼児期の親子のコミュニケーションでは、子どもと一緒に“遊びあう”ことが親子間の心の交流につながります。また子どもの想像力を高めたり、人とのかかわりを身につける最初の一步となり、心の発育にとっても大切です。そこで、最初の人間関係である親子のコミュニケーションについて考え、具体的に子どもとのコミュニケーション力をアップさせるために、乳幼児を持つ親向けの講座(保育つき)を実施しました。</p>
	<p>内容:</p> <p>講座の第1回第2回では、NLPトレーナーを講師に迎え、言葉の使い方により相手の反応が変わる具体的な体験を積みました。第3回目は、朗読と語りの専門家から親子のスキンシップやコミュニケーションの影響についての話を聞き、八王子市にちなんだ昔ばなしを語ってもらいました。第3回と第4回の間、講師が主宰する劇団こころ座による乳幼児の親子向け鑑賞会を実施しました。講座の第4回目では講師2名が揃い、参加者とディスカッションを行い全体のまとめをしました。</p>

事業の活動実績	<p>【こころのびのびコミュニケーション講座】(連続4回)クリエイイトホール第7学習室 申し込み数27名</p> <p>5月29日 第1回 コミュニケーションしてココロを楽にする 講師 梅本和比己氏(参加者16名)</p> <p>6月5日 第2回 悩んだ時のコミュニケーション 講師 梅本和比己氏(参加者19名)</p> <p>6月19日 第3回 コトバの響きの心地よさを感じる 講師 風間操氏(参加者16名)</p> <p>7月10日 第4回 ココロを伝え合う コトバで語りかける 講師 風間操氏・梅本和比己氏(参加者15名)</p>
	<p>【鑑賞会 カタ・コト・カタリ】クリエイイトホール こころ座</p> <p>7月5日 参加者 親子27組65名</p> <p>言葉に興味を持ち始め、“かたこと”を話し始める2歳前後の小さな子どもたちに贈る、優しさいっぱいのお話のステージ。シンプルなお話の展開、心地よいリズムと音色、柔らかな色彩が、子どもたちを、そして おとうさん、おかあさんを温かな世界に誘いました。</p>



事業の成果・効果	<p>【ココロのびのびコミュニケーション講座】</p> <p>講座の申し込みは定員 25 名に対し 27 名でしたが、1 回ごとの支払にしたところ、天候や子どもの体調により毎回欠席者が多く発生し、全回出席者は 7 名に留まりました。しかし参加者の感想にある通り（別紙参照）毎回充実した内容でした。</p> <p>講座①②は、自分を肯定する方法を実体験し、ロールプレイゲームなどで相手との受け答えによって全く違う反応が起きるなど、参加者にとって大変わかりやすく有意義な講座となったようです。講座終了後も講師と参加者との交流の時間を持つことができました。③では語りを通じて心地良い言葉がココロに響く体験をし、子どもに読み聞かせをしたいという感想も寄せられました。講座④では、後半座談会形式で、子どもと向き合う時間を大切にするこの大切さを講師と参加者がざっくばらんに話し合いました。</p> <p>【カタ・コト・カタリ】</p> <p>残念ながら講座参加者の多くが参加できず、講座を積み重ねた上で親子で一緒に感動体験を共有し、その大切さ楽しさを感じて欲しい、という企画意図は達成できませんでした。講座参加者だけでなく、家族揃って楽しんでほしいと考えて土曜日を選んだことで、逆に参加しにくくなってしまったようです。しかし参加した親子はどの家族も、コトバの響きやリズム、おはなしを楽しみました。0 歳児でも反応があり、ゆったりした時間を過ごしていました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 託児の子どもが月齢の低い乳幼児が多かったため、保育の人数が当初の予定より増えました。また託児用に保育室を 2 回分確保できなかったことから、託児用品が必要となりました。コミュニケーション講座にプロジェクターが必要となり、借料が増えました。カタコトカタリの申し込みが伸び悩み、カラーチラシを増刷して市内に広く配布や送付をしました。
	その他、評価すべき点等	ココロのびのびコミュニケーション講座の講師 2 名は、講座終了後に参加者との事後交流を積極的に行うと同時に、相手講座を見学するなど交流して連携が取れました。このため第 4 回目の講座のまとめが大変充実した話し合いとなりました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	乳幼児の親向け講座は、これからも企画していく予定です。
---------	-----------------------------

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子学の体系化と八王子検定の仕組みづくり		
団体名	八王子学研究会		
事業費	1,830,250円	補助金額	800,000円

事業の目的・内容	<p>目的 八王子市民であることを誇るといふアイデンティティを持つために、八王子研究会では、八王子のまちづくりの基盤としての「八王子学」を定義し、その学問体系を整え、八王子市在住の市民を始めとした関係者にそれらを普及させることを目的とする。主な分野として、①自然・環境、②歴史、③経済・産業、④情報、⑤社会・生活、⑥芸術・文化・スポーツ、⑦食・観光、⑧政治・行政、⑨市民活動・まちづくり、⑩各種データを設定する。それぞれの分野を体系化するための調査活動およびそれを関係者に広めるための「地域検定」やホームページ作成などICTを積極活用した情報発信活動を実施する。</p>							
	<p>内容 以下の事業内容を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 地域百科事典 hachipedia の構築・編集</td> <td>2. 八王子エリアマップの作成</td> </tr> <tr> <td>3. ホームページ・関連コンテンツの作成</td> <td>4. ワークショップを6回開催</td> </tr> <tr> <td>5. 市内外の関係者を招聘しシンポジウムを開催</td> <td>6. 八王子検定の問題作成</td> </tr> <tr> <td>7. 郷土学研修会への参加</td> <td></td> </tr> </table>	1. 地域百科事典 hachipedia の構築・編集	2. 八王子エリアマップの作成	3. ホームページ・関連コンテンツの作成	4. ワークショップを6回開催	5. 市内外の関係者を招聘しシンポジウムを開催	6. 八王子検定の問題作成	7. 郷土学研修会への参加
1. 地域百科事典 hachipedia の構築・編集	2. 八王子エリアマップの作成							
3. ホームページ・関連コンテンツの作成	4. ワークショップを6回開催							
5. 市内外の関係者を招聘しシンポジウムを開催	6. 八王子検定の問題作成							
7. 郷土学研修会への参加								

事業の活動実績	<p>5/16 八王子学会との交流ワークショップ (5名) 6月 ハチペディアの構築 7/11,12,13 日本財団による郷土学の研修(2名) 7/25 八王子市観光課長による八王子の観光ワークショップ (6名) 10/26 鈴木泰氏による八王子駅周辺のまち歩きワークショップ (15名) 11/29 「元気な八王子」シンポジウム(42名) 2/14 市民記者養成講座 山本氏 17名+6名 2/21 記事校正 山本氏 2/28 最終会のまとめ 3/7 片山氏による八王子千人同心のまち歩きワークショップ (24名、養成講座から12名)</p>
---------	---



八王子電子百科事典 ハチペディア



八王子千人同心のまちあるきワークショップ

事業の成果・効果	<p>5/16 八王子学会との交流ワークショップ 実績と歴史のある八王子学会と連携をしていくことを確認した。</p> <p>6月 ハチペディアの構築 オープンソースソフトウェアを用いて Wikipedia の八王子電子百科事典を構築した。</p> <p>7/11,12,13 日本財団による郷土学の研修(2名) 郷土学を学ぶために2名で研修会に参加し、全国の事例研究をした。</p> <p>7/25 八王子市観光課長による八王子の観光ワークショップ(6名) 八王子の観光の現状と将来について講演会を実施した。</p> <p>10/26 鈴木泰氏による八王子駅周辺のまち歩きワークショップ(15名) 身近な八王子の史跡を散策しながら、詳細な説明を学んだ。</p> <p>11/29 「元気な八王子」シンポジウム(42名) 八王子のまちづくりを担っているコアな講師たちによるシンポジウムを開催した。</p> <p>2/14、21、28 市民記者養成講座 山本氏 17名+6名 ハチペディアを編集するスタッフ養成講座として実施し、来年度につなげる活動をした。</p> <p>3/7 片山氏による八王子千人同心のまち歩きワークショップ(24名、養成講座から12名) 実践の場として、西八王子のまち歩きを実施し、記事を執筆した。</p> <p>3月 八王子検定の問題を作成した。また、電子版の教材も作成した ※ 八王子エリアマップについては、グーグル社が提供する無料地図サービスを活用した。 今年度の成果は、インフラづくりと他団体や市民との連携を実現できた。来年度はさらに活動を広げていきたい。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ③ 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>本事業の進捗が予定より進んだ部分があり、市民記者養成講座および検定問題の作成の試行を行ったため、パソコンや消耗品等の費用がかかった(事業変更届出済)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>市民記者養成講座というワークショップを実施し、23名×3日間、計69名による記事の企画・取材・写真撮影、編集の手法を学んだ。その1週間後に、まち歩きのワークショップを開催し24名の参加を得た。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

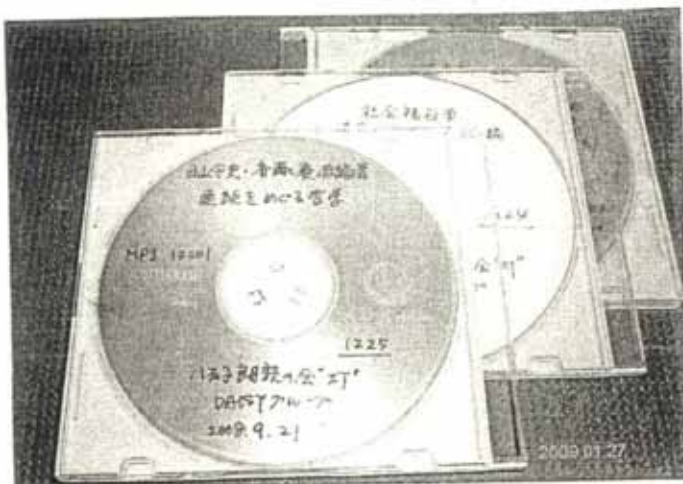
今後の事業展開	<p>以下の4つの核となる事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハチペディアの編集を継続的に実施し、八王子検定用のテキストを仕上げる。 2. 他団体と連携してシンポジウム・ワークショップを開催する。 3. 他団体と連携して、八王子検定を実施する。 4. 八王子学における電子教材を作成する。
---------	---

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	デイジー図書作製		
団体名	八王子朗読の会 “灯”		
事業費	260,460	円	補助金額 82,000 円

事業の目的・内容	目的	視覚障害者のための録音図書であるデイジー図書(CD)の作製
	内容	従来のテープ図書からデイジー図書への要望が日々増加している。これに対応するため、パソコンに加え、今期購入の機器DR-1により、さらにデジタル録音の分野を強化していく。

事業の活動実績	<p>6月… DR-1 (新しく開発されたデイジー図書作製機器)について講師を招いての講習会を開く。(20名参加)</p> <p>11月… 都立中央図書館主催、朗読者講習会 専任研修会「デイジー図書製作技法を学ぶ」に参加。11/26～11/28 3日間</p> <p>12月… 外部講師を招いての朗読のスキルアップ「内容を正しく伝える読み方」の研修会を開く。3回、87名参加。</p> <p>その他、日常的にはデイジーグループを中心に、月2回の例会において初心者への機器の研修、技術の向上に向けて活動を続けた。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>テープからCDへの移行は、パソコンやDR-1の機器での録音や校正、編集となかなか難しく、その習得にはかなり時間がかかりました。</p> <p>幸い、昨年と今年、2年続けて助成金をいただいたおかげで機器、ソフトも増え、会員の研修もすすみ、テープへの取り組みも順調に成果をあげることが出来ました。</p> <p>平成20年度“灯”に於けるテープ図書作製実績は、</p> <p>活動延べ人数 375名</p> <p>CD製作 53タイトル</p> <p>と、人数、製作数とも昨年より大きく増えました。</p> <p>視覚障害者からのテープ図書の要望に、迅速に対応できたことを、嬉しく思っています。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 助成金によって購入のフラッシュメモリーは、予算計上時刻かなり値下がりしていた。その分、数量を多く購入でき、多くの会員が利用できるようになった。
	その他、評価すべき点等	時代の要請に応じた事業(テープ図書作製)をバックアップしていたおかげは、ボランティアグループとして、大きな励みとなりました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>テープ図書作製のために、さらに研費を積み質、量ともに充実したものを作っていきたい。</p>
---------	--

平成 20 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	読書のまち八王子を活性化する学校図書館		
団体名	八王子に学校図書館を育てる会		
事業費	99,852 円	補助金額	33,000 円

事業の目的・内容	<p>目的：これまで5年間の活動を通し、ボランティアで学校図書館に関わっている方たちのニーズが「情報が欲しい」というものであると感じていたので、広報紙によって様々な情報提供をすることと、講演会で学校図書館の具体例を知ることを目的とした。</p>
	<p>内容：広報紙『学校図書館 Take Off』を10月と3月に発行（各1500部）。そのための編集委員会を持ち、年間通してテーマや情報について検討、取材しながら進めた。 講演会（2008,9,27）では、千葉県袖ヶ浦市教育委員会の学校図書館支援センタースタッフ、中村伸子さんの実践を講演していただき、学校図書館が機能するとはどういうことかを参加者とともに学んだ。</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙の配布は、市内図書館や市民センターなどに置かせてもらう一方、市内小中学校へ配布、また市議員の方々へも届けさせてもらった。講座等への参加者へはダイレクトメールで発送、会員拡大やリピーターとしての参加者拡大に効果があったと思う。 ・ 講演会参加人数22名と少なかったが、市議員や一般のかた（八王子市図書館の千人塾参加者）など、ボランティアとして関わっている以外の参加が多く、学校図書館への関心を広げる効果があったと思う。
---------	--



講演会当日は写真を撮れませんでした、夏の講座の様子。
（講演会でもパソコンのプロジェクターを使用しました）



広報紙3・4号
各1500部印刷。

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙発行では、賛助会員や新たな入会者を迎えることができ、学校図書館への関心や理解を深める一助になったと思う。また、補助金事業ではなく行っているその他の事業への参加や問い合わせにも効果があった。(ボランティア支援講座・見学会など) ・ 講演会は、会場として予定していたクリエイトホールの学習室を夢ねっとでの予約に失敗し、急遽和室で行うというアクシデントとなった。夢ねっとの使い方に慣れていないと失敗するのだと実感。また、毎年のことであるが、近年はパソコンとプロジェクターを使う講座は一般的になったにもかかわらず、プロジェクターを借りられるところがなく苦勞した。9月27日の設定は、運動会や学芸会の時期をはずしたのだが、人集めに難航した。しかし、参加者からは「学校図書館をこのように生かせば子どもたちの自ら調べ学ぶものびるのに」という声など、やはりそこに人がいることの大切さを共感できたと思う。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 講演会会場を急遽変更したため、会場費は安く上がったが様々な連絡費や印刷代が思いのほかかかってしまった。
	その他、評価すべき点等	教育委員会指導室の担当主事とも連絡が取り合え、ボランティア研修の充実へ協力できたと思う。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	今年度の申請時には、21年度も引き続きの事業でエントリーする予定だったが、自己資金の調達難しい中で補助金額が減ってくることは却って負担となるため次年度は自前で縮小した活動にするかどうか検討をしている。
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子大江戸舞祭 2008		
団体名	八王子大江戸舞祭実行委員会		
事業費	1,025,699 円	補助金額	333,000 円

事業の目的・内容	目的 隣人関係が希薄化している現代地域社会において、大江戸ダンスで縁を結び、心豊かな交流を目指す。 併せてこの活動が(心の東京革命)の実践モデルとして提案されており、活動を通じて「生きてゆくうえで当然の心得」を伝え、子どもと共に学びあいのこころを育てる。
	内容 大江戸舞祭・富士森市民体育館と富士森陸上競技場を会場にして、チーム同士日頃の練習の成果を発表し合う。 審査コーナーを設け健闘を讃え合う。

事業の活動実績	<p>今回は8月2日(土)に第5回目として富士森市民体育館と富士森陸上競技場の2会場で行った。午前中は姉妹都市である台湾の高雄市大義中学校の生徒さんたちと第五中(大江戸舞祭参加連)の生徒さんたちと大江戸ダンスを通して交流も持てた。</p> <p>また体育館での大義中の生徒による獅子舞はすばらしく子どもも大人も感銘を受けた。</p> <p>八王子大江戸舞祭参加者は10チーム250名・ボランティアスタッフ50名来賓等参観者50名総勢350名で実施出来た。(台湾の方たちは別途25名)</p> <p>参加連 スパイダーシルク翔舞(八王子市) 天下一(青梅市) ブルーバード(東久留米市) ダンススケッチ(豊島区) 柏木はやぶさ連(新宿区) ドリームエンジェルズ(八王子市) 柴又かっつけねえ's(葛飾区) 杉風(調布市) 八王子第五中学校ダンス部(八王子市) 松原リトルダンサーズ(世田谷区)</p> <p>今回は八王子まつりと同日のため、閉会後は他市の子どもたちはわが町八王子のお祭りも楽しみながら帰宅した。</p>
---------	--



体育館内



台湾高雄市大義中学校生徒



陸上競技場内

様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>今回初めて市民体育館と陸上競技場との二会場で実施した。 二会場という初めての経験であるため、かなり厳しいタイムスケジュールを設定したが、綿密な検討をしたこともありスケジュール通りに開催でき、今後の自信にもつながった。</p> <p>今回は姉妹都市高雄市の中学生との交流も今回の八王子大江戸舞祭に花を添えることが出来、少々蒸し暑い体育館であったが大変満足している。</p> <p>また、忙しい中ご参加いただいた来賓諸氏と大義中学校の生徒さんにも、高齢者も踊れる「ひざ楽ダンス」に参加いただき、一緒に踊ることが出来て大江戸ダンスのレパトリーの広さを経験していただいたと思う。</p> <p>体育館の演舞後、開放的な陸上競技場での審査踊りは自由奔放な子どもたちの笑顔と閉会式の「夕やけこやけ」の合唱がボランティアスタッフ等の過密スケジュールの疲れを癒してくれた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	今回の二会場設定はかなり厳しいタイムスケジュールであったが、このお祭りの目標の一つでもある子どもたちが、自分たちで舞祭を作り上げていこうとする意欲が徹底されてきている。自ら進んでスタッフのお手伝いをしてくれるため実行委員・スタッフは非常に安心していられた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今年度より中学校の授業に「武道とダンス」が必須となり、大江戸ダンス「夕やけ こやけ 八王子」を更に普及させたい。また高齢者や身体にハンデを持った子どもたちでも充分に参加できる「大江戸ひざ楽ダンス」を普及し参加者の幅をさらに拡大したい。八王子の参加連を増やすため、教育委員会や各校長会の協力を得て先生方への講習会の開催を実現したい。</p>
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	夢あるまちづくり		
団体名	夢あるまちづくり協議会		
事業費	856,827円	補助金額	252,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>①昨今の高齢化・少子化現象や防犯上の不安な現状、及び地域の活性化が求められている現状に鑑み、学識経験者を交えて地域づくりの学習会及び意見交換会を開催。またアンケート調査を実施し、地域の方々から地域の問題点・今後の希望、理想について多数の意見を頂戴した。</p> <p>②そこで寄せられた提言を実現し、住民間の幅広い交流を行いながら市民活動の活性化をはかる組織的活動が必要であると考え、本協議会を設立した。現在、鹿島地区連絡協議会、松が谷連絡協議会から専門委員の派遣を受け、本協議会の活動に賛同を得ており、また両連絡協議会の長期的課題に関する活動を積極的に支援している。</p> <p>③本協議会は地域に根ざした活動を目的とし、本協議会事業への広範囲な、また継続的な地域住民『参加』を促進するための企画運営と広報活動を積極的におこなうこととした。</p>
	<p>内容</p> <p>地域住民の安全と住み良いまちづくり実現のため、下記テーマ毎に各種企画を作成、実施するとともに、当該地域住民(約3,000世帯)に対し本協議会活動を周知するための広報活動を行う。</p> <p>①安全、安心なまちづくり 防犯マップ作成、防災キャンプ、危険情報交換</p> <p>②生涯学習で生き生きしたまちづくり サークル活動エリアの開発・支援、サークル交流、学校教育との連携</p> <p>③知恵をあつめて魅力あるまちづくり 商店街活性化(朝市)、循環型環境作り(リサイクル学習会)、各種イベント企画実施</p> <p>④心ふれあうまちづくり 世代間交流の機会と場の提供、高齢者・子育て世代のたまり場・居場所づくり(施設の有効活用)、各種イベント支援</p>

事業の活動実績	<p>◇本年度の事業は、多少の時間的なずれはあったが、予定通りに実施できた。</p> <p>◇具体的な事業実施内容は以下の通り。</p> <p>◆自主開催の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップお花見開催(3月) ・朝市、夕市開催(5月、6月、7月、8月、10月、11月) ・みどりの学校開催(12月) ・防犯マップ作成(8月) ・カラオケサークル開催(2回/月、及びカラオケ大会(12月)) ・広報紙発行(8月、2月) ・DH大学三者協議会住民事務局(1回/月) <p>◆他団体開催事業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿島・松が谷両納涼祭参加・運営協力(7月) ・鹿島・松が谷子どもまつり参加・運営協力(11月) ・鹿島地区連絡協議会防災訓練協力(11月) ・由木東市民センター祭り(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・男の料理教室開催(7月、10月、3月) ・虫を見る会開催(6月、1月、3月) ・防災キャンプ&フォーラム開催(9月) ・環境学習会開催(2月)
---------	---	---



男の料理教室



環境学習会

様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>●本年度は事業部門補助金交付により、更なる資材や人材を確保するとともにより多くの住民間の交流と親睦を促進し、「補助金を地域に還元できる取り組みを！」を目標に種々の活動を展開した。</p> <p>●昨年度以上に参加者が増加し、活動実績を通して地域の皆様から本協議会活動を評価して頂けたと考えており、当初の目的は十分に達成できたと考えている。</p> <p>●地域のネットワークづくりに関する取り組みとして、昨年度と同様に防災フォーラムを企画し災害時における自治会・管理組合の連携も視野に入れた問題提起を行った他、今年度は、鹿島地区連絡協議会・松が谷連絡協議会との共催、八王子市及び八王子市教育委員会後援で、「かけがえのない地球を守ろう！」—まずはごみの分別から—と題した八王子市出前講座を活用した学習会を開催し、地域の皆様、地域住民組織相互間の連携に大きな役割を果たすことが出来た。また、蜚の観察を通して、明星大学との交流も生まれた。</p> <p>●本年度も鹿島地区連絡協議会、松が谷連絡協議会から専門委員を派遣していただき、積極的な意見交換を通じて良好な協力関係を維持できている、デジタルハリウッド大学三者協議会住民事務局としても継続した活動を行った。</p> <p>●行政との協働という点においては、協働推進課のみならず防災課・公園課・産業政策課・ごみ減量対策課・環境政策課との個別の懇談により、当協議会の果たすべき課題を探ることが出来た。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>広範囲な事業計画であったが、企画が多数あったことが会員及び住民各位の関心持続につながっていると思う。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>更なる資材や人材を確保するとともに、より多くの住民間の交流と親睦を促進し、豊かで安全なまちづくりに貢献する活動を行う。</p> <p>協議会設立から5年が経過し、今後も自立した協議会として活動するため改善が必要な活動方針、体制等について検討する。</p>
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	外国人のデジタルデバインド解消のためのパソコン相談会・学習会		
団体名	情報ボランティアの会(八王子)		
事業費	1,244,643円	補助金額	600,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>当会のこれまでの実績を踏まえて、今回の申請では、八王子市内の外国人留学生や八王子にある国際交流のボランティア団体と連携して、八王子市と近隣の地域に密着した情報を八王子近隣に在住の外国人に着実に届け、彼らが豊かな地域生活できるよう支援することを目的とする。</p>
	<p>内容</p> <p>1. 外国人のための何でも相談会を実施し、外国語を母語とする留学生ボランティアを通訳として、当会会員が情報検索することにより、外国人の様々な問題や疑問を解消する。または問題解決のための指針を与える。2. 前述の問題と解決法を文書化し、インターネットを通じてそれらを発信し、各国語対応質問回答集（FAQ）を作成する。3. パソコンや携帯電話の情報機器に関する購入方法や使用方法についてのアドバイスや講習を実施する。4. 外国語ごとのメーリングリストを作成し、各メーリングリストにアドバイザーとして上記のボランティア通訳が参加する。5. 日本語によるパソコンの継続的な学習を実施する。6. その他、上記に関する事業や情報発信を実施する。</p>
事業の活動実績	<p>毎月、第1日曜、第3日曜に外国人のデジタルデバインド解消のためのパソコン相談会・学習会を実施した。相談者がいないときは、日本語の文書やデータの翻訳および整理を実施した。場所は平成20年7月に設立された八王子国際協会の学習室を利用した。</p> <p>1年間で合計24回の活動を実施し、外国人相談者および外国人サポーター計73人、相談会サポーター88人、合計161人の参加により、さまざまな活動を実施した。</p> <p>これとは別に、さまざまな外国人にとって有益と思われる日本語の情報について、翻訳を実施した。</p> <p>また、設立後間もない八王子国際協会のIT化支援を積極的に実施した。</p>



日本語・ローマ字読み・中国語を併記した電子地図。八王子に何があるかを中国にいても検索できるようにしている。



中国人の相談者（手前）と対応するスタッフ（日本人）
相談内容は自身のパソコンの日本語エクセルの使用法

事業の成果・効果	<p>(1) パソコンを使った相談会・学習会 19年7月から八王子市国際交流コーナーにおいて、第1、3日曜日(午前10時~12時)に開催している。午後は、クリエイトホールの学習室を用いて引き続き相談会・学習会を実施した。 1年間で合計24回の活動を実施し、外国人相談者および外国人サポーター計73人、相談会サポーター88人、合計161人の活動により、さまざまな活動を実施した。 相談内容としては、外国製のパソコンとソフトで日本語のホームページを見る方法など外国人特有な照会等の相談に応じた。 パソコン学習会では、上記相談会と並行してパソコンのメール、ワード、エクセル等の学習を指導した。学習内容として、日本語習得のためのワードの勉強、祖国との連絡のためのメールの練習、エクセルの学習など研修生や主婦の方などが受講した。</p> <p>(2) 外国人のためのインターネット地図およびホームページの制作 去年から引き続き、外国人のために、英語、中国語、スペイン語による八王子市のインターネット地図および観光マップのホームページを、上記留学生に制作してもらい、公開した。</p> <p>(3) 八王子国際国流団体連絡会の参加と交流 外国人支援活動を行う団体として参加し、運営委員会委員に当会から4名が就任した。他団体との交流を行うとともに、必要に応じ提言やメーリングリストなどの技術の提供を行った。</p> <p>(4) 八王子市内にある全ての約1000件の病院データベースを作成した。それ以外に大学・小中高校・幼稚園のデータベースも作成した。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 日本語学習を望む外国人が多いため、当初想定していなかった、日本語学習のテキストおよびパソコンで自習できる日本語教材を用意し、次年度の活動につなげることにした。
	その他、評価すべき点等	八王子市外国人市民会議において問題となった病院に関連して、八王子市内の約1000件の病院データベースを作成し、そのデータベースを基にして、診療によって検索できるシステムを作成した。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	八王子国際協会において、継続して、外国人のデジタルデバインド解消のためのパソコン相談会・学習会を実施すると共に、日本語学習を望む外国人にむけて、パソコンを用いた日本語教育をスタートしていく予定である。
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子周辺花めぐりマップ		
団体名	高尾の野花を見る会		
事業費	750,000円	補助金額	250,000円

事業の目的・内容	<p>目的※最近、ミシェラン効果のためか高尾周辺のみならず八王子全体に訪れる観光客が増えました。また多くの観光客の目的は圧倒的にハイキング等の方が増え続けており、自然豊かな八王子をさらに楽しみ、安全、マナー、環境保護等を目的として八王子周辺花めぐりマップを作成しました。</p>
	<p>内容※主な内容として高尾山、高尾周辺、裏高尾、小仏周辺、元八王子周辺、八王子城址周辺、恩方町周辺、北高尾山綾、陣場、陣馬街道、陣馬山周辺、相模湖、草戸山、南高尾山綾、千木良、相模湖、藤野周辺、その他地域までの時間、走行距離を含めたイラストマップを制作し、前記周辺の野花の写真等103点を撮影し掲載しました。</p>

事業の活動実績	<p>※マップに関して、11月には地元の商店、書店等に置かせていただき販売を開始いたしました。</p> <p>※12月には地元小学校等に贈呈し、地域の子供たちに配布していただきました。</p> <p>※全体の感想ですが、イラストマップは一般の地図とは異なり目標物等がわかりやすく、明確なためかとても喜ばれていることです。このようなことでかなりの多くの市民の方々に喜ばれました。</p> <p>※他に、事業の主な実績としては「高尾の野花を見る会」で会員、一般の参加者とともに上記記載の事業内容の地域でゴミ拾い、かたづけ、清掃、処分活動等を行いました。</p> <p>※またそれに伴い一般市民を含めた野花を見る会を定期的で開催し多くの市民との交流を図り、山歩きの基本、マナー等を実際に体験していただき清掃活動等が皆さんと行えたことです。</p> <p>※同時に野花を見る会ですから実際の野花の写真教室等を現地で行う事ができ多くの方々から喜んでいただきました。</p> <p>※これらの野花の写真を会員、一般市民を含め当会の新設ホームページで紹介したり、11月度に開催された、第29回八王子いちよう祭りのオリジナルイベントとして八王子市中央図書館地階展示ホールで7日間という長期に渡り「高尾周辺の野花の写真展」を開催し観客動員数約8000人余りの方々にご来場いただきました。写真展示枚数約1000枚の規模です。また地元商店会等では現在も展示等を行っています。</p>
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>1・高尾の野花を見る会の知名度が地域で広がりました。</p> <p>2・約10000枚の発行により地域の子供たち等に贈呈、無料配布ができ、また一部小学校等で授業の一環としてこの地域の野花の勉強や、郊外学習等に利用していただきました。</p> <p>3・本イラストマップ発行により会の内容等の問い合わせ、ハイキング時期の問い合わせ、山登りなどの問い合わせ、写真撮影に関する技術的な相談などが増えてきました。</p> <p>4・約15か所以上の地域、周辺での野花を見る会を開催しました。全体の参加総数は約300人以上の方々に参加していただきました。</p> <p>5・野山を中心に開催し、ゴミ拾い、片付け、処分、清掃などを通して参加者の環境保護意識が高まり、さらに初めての参加者を含めた交流が活発に行われてきました。</p> <p>6・身近な山であっても装備、身だしなみ、ルール、エチケット、マナー、礼節を含めた人間関係の大切さ、野花の大切さ、目立たない雑草にも目を向けるという自然の美しさを多くの方々にお伝えができました。</p> <p>7・結果、参加者のほとんどの方より、わたしたちの小さな力かもしれませんが貴重な自然を守り、野花をみんなで保護していこうという共通の意識が生まれてきました。</p> <p>8・主催者側としてはかなりハードな日程、予定の中で多くの方々喜んでいただいたことと、野花に関する考え方を重要視していただいたことが何よりの喜びです。</p> <p>9・主な贈呈先、配布先としては浅川小学校、東浅川小学校、幼稚園等です。</p> <p>※マップの作成枚数は当所4000部の予定でしたが印刷屋さんのご協力により10000部と増やすことが可能となり、約5000部近くを一般の方々や、学校関係に配布ができました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)当初100円で販売を予定していましたが、地域での書店販売などの手数料や注文時での郵送費用などの問題もあり、100円では費用の捻出がむずかしいと判断したため、200円としました(送料80円)また、昨年度のガイドマップの評価、認知度も高く、ミシュラン効果、高尾周辺の散策に訪れる人が多くなったことが販売収入の拡大に繋がったのかと思います。</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後の事業展開に関して会員、一般市民の方々との交流等をさらに深めて、現地だけでなく市のセンター等での八王子周辺の野花の写真上映会や野花の写真展はもちろん、野花の写真コンクール等を開催したいと考えています。わずか何ミリ、何センチの小さな野花は写真撮影により、また大きな違いに気づきます。またその写真を大きく拡大したり、大型スクリーンなどでの上映会なども美しく、素晴らしいものです。そのようなことを現在検討中です。</p>
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	ふるさとの食を拓く		
団体名	NPO・ふるさとの食を拓く会		
事業費	561,054円	補助金額	128,000円

事業の目的・内容	目的 食の欧米化などによる生活習慣病や不健康な食文化が今大きな問題になっています。風土に蓄積し継承された50万市民各地の「ふるさとの食」をあじわいながら調理し、体験し、次世代に「ふるさとの食」として誇れる文化を創造し、継承することを目的としている。
	内容 「ふるさとの食」を通じた食育の推進。 「ふるさとの食」に関するフォーラム、ワークショップ開催。－「食育」に対する啓蒙 「ふるさとの食」の調査・研究。 地域の農家の商品開発支援（ブルーベリージャムの作り方教室開催など）

事業の活動実績	4月	研究会（マクロビオティック料理）
	5月	第30回「ふるさと食」伝承料理調理体験教室「菜膳料理」 ふるさと探訪・・・「群馬・みなかみを訪ねて」
	6月	第31回調理教室「夏の伝承料理そば打ち（男の料理）」
	7月	第32回調理教室「食育：親子で昔のオヤツ作り」
	8月	第33回調理教室「酒まんじゅう」 農業体験教室 ブルーベリー摘み取りとジャム作り
	9月	第34回調理教室 ふるさとの伝承料理「栗のシブカワ煮」
	10月	第6回「ふるさとの食を拓く会」フォーラム「食品添加物の情報公開」 農業体験教室 サツマイモ・落花生の収穫
	11月	第35回調理教室「3種のご飯」
	12月	第36回調理教室「古くて新しい伝承おもてなし料理」
	2月	第5回ワークショップ「食の安全－寄生虫に気をつけよう」 第37回調理教室国際交流「アジアの国のふるさと料理」カンボジア
	その他、農耕体験（畠の土おこし、肥料やり、草とり、種植えを通し土に親しむ）多数参加者あり。 理事会は毎月最初の月曜日実施。 必要に応じて三役会議実施。	

第6回フォーラム



調理体験教室



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>本会は市民のための食育を共有し個食、孤食、朝食欠食、栄養の偏り、清涼飲料水やファーストフードのとりすぎ、食事摂取時間の乱れなど、食生活の乱れから様々な症状を訴えている子どもや大人の生活習慣病が増えている現代にスローフードを提言し、実践に移し市民の健康に啓蒙運動をすることが出来ました。</p> <p>活動は参加者皆さんには好評を得ていますので、今後ますます活動を広めていこうと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調理体験教室の実施により健康で豊かな生活（スローフード）を実現している。 フォーラム、ワークショップを行い、食育の重要性を参加者と共に考え、その知識を広められた。 ふるさと食の探訪や研究会を行い、人的交流をはかり訪問先のふるさと伝統食を学べるよい機会であり、八王子地域の伝統食に研究を進めていくよい機会であった。 地域の農家の作物を利用した商品作りの支援により特色のある地域商品の振興に寄与することができました。 農耕体験を通じて、作物作りの基本と自然の力の偉大さ、難しさを学ぶことができました。 会員は食に対する本物の知識や体験を積むことでレベルアップしてきました。 保健所、学校、地域と提携して食育活動に参加して貢献することができました。 食の安心・安全が益々重要になってきました。「ふるさと食を拓く会」の使命は大変やりがいのある事と認識させられました。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 講師の都合、会場の都合で内容を変更することがありました。 特に室内における調理体験教室は、調理室を借用するのに抽選なので、予定日に実習が出来ないことがあり困惑しました。 市民センターの調理実習室は使い勝手が非常に悪いので、クリエートホールの料理講習室を使用することが多く、申し込みは抽選なので困難でした。 また、計画段階では記載がありませんでしたが、調理教室の参加費徴収と食材・材料費を計上したため、計画段階と異なりました。
	その他、評価すべき点等	調理体験教室が中心ですが、調理そのものから伝承料理また食育に関する考え方が着実に変わってきていることです。 農耕体験、ブルーベリージャム製造と新しい分野も着実に育っています。 実践教育ほどすばらしいものはないと痛感している。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>正会員、賛助会員を増強し自立した組織を目指す。</p> <p>ジャムやふるさと食の製造販売。</p> <p>調査研究を続け、モデル事業を進め、将来事業の立ち上げの基礎をつくる。</p> <p>今後は身近な組織、団体と<u>共同体（ネットワーク）</u>をつくり意見交換をしながらより良い活動をして行きたいと考えています。</p>
---------	---

平成 20 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子子ども祭り		
団体名	八王子子ども祭り実行委員会		
事業費	1,242,209円	補助金額	320,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>「子ども達に仲間、希望、豊かな文化を1」を合い言葉に様々な分野での個人・団体が協力し合って秋の一日子ども達が500円玉1つ持ってくれば楽しく遊べる事業ということで、毎年企画実施している。</p>
	<p>内容。</p> <p>中央舞台第2舞台～こどもたち中心の歌・踊り。最近は応募者が多く、7～8の団体が出演。実行委員会主催のイベント～「みにSL」「乗馬」「ふれあい動物」「フアファ寅次郎」「くじ」「オリエンテーリング」等等 手作りコーナー。遊びコーナー。食べ物コーナー</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年も連休のまん中11月2日の実施であった。お天気にも恵まれ昨年に引き続いて4000人近い市民・子ども達が参加し大盛況であった。 ・ 昨年に引き続いてふれあい動物・また猿回しと人気のコーナーもあり補助金のお陰で馬の他にポニーも呼ぶことができてイベントも充実していた。 ・ 昨年に引き続いて大学生・高校生・中学生のボランティアスタッフの参加も多く、祭りが若々しくなり、また事業もスムーズに運んで助かった。 ・ 市民の公募のお店も多く、また紙芝居・読み聞かせ・お手玉の会などの参加もあり特に今年はコマ協会の方が来てくださったので昔の遊びが充実していた。お店から上がる1割の還元金も祭りの重要な資金源になっている。 ・ 昨年に引き続きボランティアに交通費を支給することができたが、補助金が来年からもらえなくなるのでまた厳しくなるとおもう。
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>・29回目の祭りもお天気に恵まれ大きな公園が歩くところが少ないくらいたくさんの人にあふれました。今年は市民企画事業3年目ということで32万円の補助を頂き、こどもたちの喜ぶ祭りが実施できたこと実行委員会一同喜んでます。ボランティアスタッフにたくさんの若者が参加してくれるようになり、実行委員の負担が軽減されました。とはいえ、やはり実行委員会の高齢化は避けがたく、継続がかなり困難なところに来ていることは確かです。3000人~4000人の参加の祭りは規模的にも(人気が高まってきているのはうれしいことですが、・・・)やはり準備が大変です。</p> <p>・年々、参加者も増えていますがイベント・お店などでの申し込みも多くなって文字通り市民参加の祭りになってきています。不景気ということもあって、このように身近で安く楽しめるお祭りが待たれていると感じます。また秋の1日親子や地域の人たちと何かを作ったり(ビーズであったり、木工作であったり、お手玉であったり)することは、楽しいことだと思います。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>・荷物に搬入・搬出・交通安全・片付けなど若い力を借りながら問題なく終えることができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>来年度は30回という節目になるときのなのでより充実した子ども祭りになるように力を合わせたい。補助金がなくなるのでたぶん交通費などの支給はできなくなると思う。よりボランティア精神で頑張っていきたい。今後のことについては話し合いを進めて行く。</p>
---------	--

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	高齢者の生きがいつくりと子ども支援、住みよい町づくり		
団体名	きよびー		
事業費	4,641,619円	補助金額	480,000円

事業の目的・内容	目的
	<p>①地域に高齢者支援と子ども支援のための活動拠点を作り、誰もが気軽に集い世代間の交流を通して住みよい安全な町づくりを推進する。</p> <p>②前年度実施した川遊び・朝市などの地域活動や群読の公演・介護施設の見学などのイベントが好評だったので、それらを引き続き実施する。</p>
事業の活動実績	内容
	<p>①ボランティアによるランチ・惣菜づくりとその販売・朝市等を通して地域住民との交流と親睦を深め、高齢者の生きがいつくりと住みよい町づくりを推進することができた。</p> <p>②老人会や子ども会と協力しての地域活動、八王子第二中学と協力してのイベントなど前年度の事業を引き続き実施し、その内容を充実させることができた。</p>

事業の活動実績	1. サロン活動
	<p>①ボランティアにより、毎週月・木・土・日の4日間(祭日は除く)11:00~17:00まで交代でサロンを運営し、ランチや惣菜作りと販売などの活動を行い地域住民との連携を深めることができた。</p> <p>②地域の高齢者、一人暮らしの高齢者、子育て中の若い人などの利用者が多く好評だった。</p>
事業の活動実績	2. 地域活動
	<p>①子供を対象とした川遊び・芋掘り・凧作りなどを実施し、自然に親しみながら環境問題と自然の大切さを実感することができた。</p> <p>②毎月末の日曜日に朝市を実施し、地元の農家の協力を得て新鮮な農産物を中心に提供することができた。</p>
事業の活動実績	3. 子どもと高齢者支援イベント
	<p>①地域包括支援センターと共催で介護保険の利用と施設の関係などの講演と懇談会を開き、高齢者のかかえる問題について相互理解を深めることができた。</p> <p>②中学生と地域の高齢者を対象に、八王子第二中学校と共催で、全盲の演奏家前川裕美さんを講師に「トーク&コンサート」を開き、ピアノの弾語りを聴きながら、その生き方と障害者に対する思いやりを学ぶことができた。</p>

写真① 夏休み川遊び (20.8.19)



写真② 介護保険と介護施設・懇談会 (20.9.27)



事業の成果・効果	<p>1. サロン活動</p> <p>①毎回6～10人のボランティアがグループでランチ・惣菜作りに参加し、参加者同士の親睦と連帯感を深めることができた。</p> <p>②サロンの利用者は、地域住民を中心として平均30人前後で、気軽な話し合いを通して情報交換をしながら助け合いの機運を高めることができた。</p> <p>2. 地域活動</p> <p>①朝市：毎月末の日曜日(10:00～11:00)に実施し、地元産の新鮮野菜と手作りの総菜などの販売をおこない好評であった。</p> <p>②川遊び：春休みと夏休みに榎原小学校近くの浅川で川遊びを実施。参加者は春夏とも子供35人前後、ボランティア15人位で自然に親しみながら楽しく環境問題を学ぶことができた。</p> <p>③芋掘り：近くの中村農園で季節毎にジャガイモ掘り・さつま芋掘りを実施し、土に親しみながら子供とボランティアが泥んこになり活動した。</p> <p>④凧作り：12月末に凧作り教室を清川自治会館で実施。和紙に絵を描き、竹骨を張り、バランスをとりながら糸をはり、自力で凧作りに挑戦した。午後は、川原で自作の凧をあげ楽しんだ。</p> <p>3. イベント</p> <p>①介護保険と介護施設：地域包括支援センターの社会福祉士と病院のケースワーカーによる講演で施設の利用と認知症について参加者の理解を深めた。</p> <p>②トーク&コンサート：全盲の演奏家前川裕美さんのピアノの弾き語りを鑑賞しながら障害者に対する思いやりと自己実現の大切さを実感できた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 一部の事業で実施時期のずれや料理教室が実施できなかったことなど、計画との違いはあったが、おおむね計画通りの実施できた。
	その他、評価すべき点等	実施したどの事業とも大変好評で継続が望まれているが、それらを引き継ぐ次世代のボランティアの養成が必要に迫られている。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	今年度で、補助金の交付はなくなるので予算を必要とする大きな事業はできないが、3年間の経験を精査し、住みよい安心安全な町づくりに繋がる事業を展開していきたい。
---------	--

6 成果報告会 アンケート結果

アンケートの概要

実施日	平成21年5月30日(土) 成果報告会にて
対象	成果報告会に来場された方
内容	各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想
回答数	12

(1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	・ 民間レベルの日中友好活動基礎作り大人と子どもと一緒に楽しく、元気パワー。こ		
団体名	八王子市日本中国友好協会	事業成果報告の記載ページ	P 6

・(コメントなし)

事業名	パフォーマンスママ「レインボーズ」		
団体名	パフォーマンスママ「レインボーズ」	事業成果報告の記載ページ	P 8

- ・ 子ども達との楽しいパフォーマンスありがとうございました。これからも子ども達やお年寄りに楽しさを振りまいて下さい。(70代男)
- ・ 面白い活動である。(60代男)

事業名	発達障がいの子どもたちを地域で支援・育てる		
団体名	かたつむりの会	事業成果報告の記載ページ	P 10

- ・ 障がいの子どもたちへの理解を普及し、自立を目指す活動、頑張ってください。(60代)
- ・ 発達障害という理解しにくい子どもたちの行動をキャラバン隊の皆さんがいろいろ工夫して啓蒙していらっしゃる様子がよくわかりました。頑張ってください。(70代男)

事業名	紙芝居普及活動		
団体名	わくわく紙芝居サークル	事業成果報告の記載ページ	P 12

- ・ 日本古来の伝統文化の伝承を大切に、動画と違う良さ(言葉の表現)を伝えてください。(60代)
- ・ 紙芝居が一番心に残るのは小学校低学年の皆ではないかと思えます。学童保育部・保育室等での公演をお願いします。(70代男)
- ・ 面白い活動である。講座を行っているのも良い企画である。(60代男)

事業名	脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」		
団体名	ヒーリングアート・パステルカフェ	事業成果報告の記載ページ	P 14

- ・ 魅力的な活動だと思います。(50代女)

事業名	音楽療法体験ワーク & 音楽療法講座		
団体名	豆の木音楽療法研究所	事業成果報告の記載ページ	P 1 6

- ・ 地道で難しい活動ですが、是非続けていく中で解決案を見つけて下さい。(7 0 代男)

事業名	八王子-ケムニッツ 日独交流演奏会		
団体名	八王子フィルハーモニー合唱団	事業成果報告の記載ページ	P 1 8

- ・ 良い。100万円はどうか。(7 0 代男)
- ・ 八王子の文化の質の向上に寄与されている。(6 0 代男)
- ・ 地域の文化活動として、大いに期待する。私も今回初めて知り、是非次回は演奏会に行きたいと思います。(5 0 代男)
- ・ 補助がなければ、自立して活動できない感じ。(6 0 代男)

事業名	親子ふれあいキャンプ2008		
団体名	はちおうじユースネットサービス	事業成果報告の記載ページ	P 2 0

- ・ 立派な企画内容で、親子に喜ばれたイベントであったと思います。特に、この予定で2泊3日はスタッフの御苦労がしのべれます。(7 0 代男)
- ・ 3日間の様子がよくわかり、参加者の喜びが伝わってきました。親子の絆が薄れている最近ですが、是非今後とも親子のふれあい継続を希望します。(6 0 代)
- ・ 親子のふれあいが少ない今、青少年の健全育成からも、重要性はますます増えると思う。(5 0 代男)
- ・ 参加者が負担する費用に補助している感じがする。自立のための費用になっているか?(6 0 代男)

事業名	市民参加型 援農活動による農業活性化 -		
団体名	特定非営利活動法人 すずしろ22	事業成果報告の記載ページ	P 2 2

- ・ 食物自給率40%の今、このような活動が活発になる事を望む。(6 0 代男)
- ・ 今日、農業の劣化は目をおおうばかりである。都市住民は土を通して作物を作りたいと考えている。今日さらなる事業展開が望まれる。(5 0 代男)

事業名	かんたん洋裁 易しい優しい洋裁仲間		
団体名	NPO 法人 八王子服飾センター	事業成果報告の記載ページ	P 2 4

- ・ 元気なシニアは、おしゃれ希望のシニアでもあります。是非、広く普及して下さって八王子のシニア活性化の一翼となって下さい。(7 0 代男)

事業名	子育てサポーターの街にしよう! 「子育てしやすい街・八王子」		
団体名	保育サポーターはちっ子	事業成果報告の記載ページ	P 2 6

- ・ 子育ては次世代育成の為の、大事な仕事。そのサポーター育成は非常に大きい成果です。参加者が大勢活動に参加していること、良かった。(7 0 代男)

事業名	パン作りで心もからだもリフレッシュ		
団体名	ムッシュ手づくりパンの会	事業成果報告の記載ページ	P 2 8

- ・ 孤軍奮闘でうつの方々への支援活動をしている様子が、良く判りました。もっとPRが必要で

すね。(70代男)

- ・ 精神障害者の社会復帰訓練(デイケア)事業として大切な事業である。市役所の側面協力が大いに望まれる。(50代男)

事業名	子どもの虐待防止のための事業		
団体名	子どもの虐待防止市民ネットワーク多摩	事業成果報告の記載ページ	P 3 0

- ・ 子どもの生命を地域で守っていくことは、大事なことだと思った。(50代女)
- ・ 虐待はあってはならない事。家庭内の事でとても難しい事だ。(60代男)
- 地道な活動、よく頑張っている感じ!(60代男)

事業名	知って得する高尾駅周辺情報「高尾界限」出版本		
団体名	特定非営利活動法人 著作権協会	事業成果報告の記載ページ	P 3 2

- ・ 地元の歴史を文書で残すことは、次世代へつなぐ大きな財産です。(70代男)
- ・ 八王子の文化の掘り起こしを契機にこの活動は大いに期待しています。文化のかおり高い行政の援軍だと思う。(50代男)
- ・ 自立している団体で補助の必要あるのか。(60代男)

事業名	女性のための市民活動スタート応援事業		
団体名	特定非営利活動法人 エンツリー	事業成果報告の記載ページ	P 3 4

- ・ ハンドブックが中高年男性に評判が良かったというのは同感です。団体同士の懇親会が欲しいという希望に共感しました。(70代男)
- ・ 本の中に校正で発見できないミスがあったのは残念。八王子の歩き方になっていた。発表うまい。(60代男)

事業名	みんなで作る子育てマップ		
団体名	おおきに	事業成果報告の記載ページ	P 3 6

- ・ 今までにないアイデアだと思う。(60代男)
- ・ 子育てママの真のニーズを把握してのMAP作り、頭が下がります。大勢の子育てママが見たいと思います。是非HPで公開して下さい。(70代男)

事業名	こころのびのびコミュニケーション		
団体名	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場	事業成果報告の記載ページ	P 3 8

- ・ 昔の家庭は、三世同居、現代は若い母親と乳幼児ということで、いろいろ悩みの多いことと思います。地道な活動ですが、若い母親を応援して下さい。(70代男)
- ・ 外部の講師の活動がメインで自分達の活動になっていない感じ。(60代男)

事業名	八王子学の体系化と八王子検定の仕組みづくり		
団体名	八王子学研究会	事業成果報告の記載ページ	P 4 0

- ・ 八王子を子ども達に知ってもらうためにもやさしい検定テキストの作成、これの小中学校への普及をお願いします。(70代男)
- ・ 私達の知らない八王子を学び、市民の大きな財産となる(私の祖先は1600年から八王子に住

んでいる旧住民である)(50代男)

- ・ ICTをやっているわりには、スライドが見えない。検定が楽しみである。(60代男)

事業名	デジター図書作製		
団体名	八王子朗読の会“灯”	事業成果報告の記載ページ	P 4 2

- ・ 図書館予算を多くして、市でのデジター用機材をふやしてほしいと思う。(50代女)
- ・ もっと機材購入等が必要ではないか。(70代男)
- ・ 視覚障害者の大事な情報源であると思った。(50代女)
- ・ デジター図書機器が普及される事が望まれるが、公的補助も充実されるべきである。(60代男)
- ・ デジター図書は全図書館、市民センターでの貸出しをすると良いと考える。(テクノロジーの進歩に驚いた次第である)(50代男)
- ・ 補助が少ないのに、よく活動している。(60代男)

事業名	読書のまち八王子を活性化する学校図書館		
団体名	八王子に学校図書館を育てる会	事業成果報告の記載ページ	P 4 4

- ・ 学校図書館、take off の発行は良いアイデアであり、少ない補助金でよく頑張ったと思います。(70代男)
- ・ 教育の充実のため、小中各校への司書の配置が大切かと思う。できれば、有償ボランティアによる人的配置が大切である。(50代男)

事業名	八王子大江戸舞祭2008		
団体名	八王子大江戸舞祭実行委員会	事業成果報告の記載ページ	P 4 6

- ・ ソーランのブームは良く知られているが、大江戸舞がもっと大勢の子どもたちに拡がることを期待しています。(60代)
- ・ 子ども達に運営を手伝わせていることは大変良いことです。小中校長会との連絡も大事なことで、続けて下さい。(70代男)
- ・ 北海道の「ソーラン踊り」より良いと思う。1つ驚いたことは、子どもが運営や片づけに協力的であることを聞き、実行委員会の方針に感動した。(当区ではなかなか実行できない)(50代男)

事業名	夢あるまちづくり		
団体名	夢あるまちづくり協議会	事業成果報告の記載ページ	P 4 8

- ・ 25万円は多い、もったいない。まちづくりにカラオケとか蛍を見る会無駄。(70代男)
- ・ このことは魅力ある八王子づくりの一助となり、市民団体の創意工夫に感動した。(50代男)

事業名	外国人のデジタルデバイス解消のためのパソコン相談会・学習会		
団体名	情報ボランティアの会(八王子)	事業成果報告の記載ページ	P 5 0

- ・ パソコンを使っの市内在住の外国人の方々に生活支援的なところまで、踏み込んでやっていることに感心しました。留学先の協力は本当に大事ですね。(70代男)
- ・ IT社会の今日、こんな活動は軽費で多くの市民に利用できるので大切と思う。(50代男)
- ・ ICTをやっているのに、画面が分りにくい。成果はかなりありそう。(60代男)

事業名	八王子周辺花めぐりマップ		
団体名	高尾の野花を見る会	事業成果報告の記載ページ	P 5 2

- ・ 自然環境を守るために、楽しみながらの活動は効果的だと思った。(5 0 代女)
- ・ 山を荒さない、花をつまない、の理念が高い。(6 0 代男)

事業名	ふるさとの食を拓く		
団体名	NPO・ふるさとの食を拓く会	事業成果報告の記載ページ	P 5 4

- ・(コメントなし)

事業名	八王子子ども祭り		
団体名	八王子子ども祭り実行委員会	事業成果報告の記載ページ	P 5 6

- ・ 5 0 0 円玉一つで一日楽しく遊ぶという発想はすばらしい。遊びながら、社会的なしつけもしてくれるイベントだと思います。続けて下さい。(7 0 代男)

事業名	高齢者の生きがいつくりと子ども支援、住みよい町づくり		
団体名	きよびー	事業成果報告の記載ページ	P 5 8

- ・ 民生委員の活動につながりそうで参考になりました。今後も継続してください。(6 0 代)
- ・ 大勢のボランティアに支えられた活動。組織の維持と財政維持に御苦労されていることと存じますが、是非続けて下さい。(7 0 代男)
- ・ 3 年間補助しても自立していない感じ。(6 0 代男)

(2) 成果報告会についての主なご意見・ご感想

- ・ しっかりと時間内に収められるようにしてほしい。質問時間等が短くなると思うので。 パワーポイントの電源は不使用の時、切れるようにしてはいかが。 マイクについて、ボリュームの調整をしっかりとして下さい。声が大きすぎるが多かったです。司会者の声も大きすぎる(マイクのボリューム大)と思います。常に聞きやすい状況での報告会をお願いします。 質問時間を区切るとよい。(1 人で全ての時間を使わないように)(5 0 代女)
- ・ この制度の理解をより深めてもらうためにも、この報告会資料に要綱とか、制度の説明を入れた方がよい。(2 ページぐらいでよいので。) できれば、成果報告会をテーマごとにグループ分けしてやってもらえると、もっとその分野に関心のある人を集めやすいのではないかと。発表順があまりにもバラバラで、ちょっとでも進行が変わったりすると、聞きたいものが聞けない。テーマが近いもののかためてもらえると人も聞きやすい。(年代未記入)
- ・ 画面が小さくて見えない。(6 0 代男)
- ・ 関係団体の人以外の市民に広く聞いていただきたい。(5 0 代女)
- ・ 市民が行っている活動を、もっと広く知らせるためにも、このような成果報告会のアピールが必要。関係者のみではなく、一般の方も参加できる工夫を望みます。(5 0 代女)

- ・ 全体を通して、私の経験から八王子市政をみると「当区」と違い次の点で大いに誇れる「市民企画事業」に感心し、当区の行政に反映したい。特に、参加団体の会員が若いこと（愛着ある誇れる八王子の歴史、風土、市民感覚）を聞き、市職員が「市民の目線」に立った行政が目についた。今後、先進行政である八王子行政を、一市民として「あつい期待」をしています。今日は、有意義な知識を与えて下さり、ありがとうございました。（５０代男）
- ・ 全体的に字が小さく分かりにくい。画面を大きくするか、字の大きさを教えた方が良い。せっかくの発表なので！１問１答の質問にした方が良い。質問返答も長すぎる。質問、返答とも下手。（６０代男）

（３）市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

- ・ ３年間いただける方向なのは嬉しいですが、２年次１／２、３年次１／３とならないようにはできないものでしょうか。（５０代女）
- ・ 是非、継続させたい事業には補助金制度も３年限度ではなく、さらに補助期間の延長ができないものか。参加者の負担増や、事業の打ち切りが出てしまうのは、ちょっぴり寂しい気がします。参加者が参加しやすい負担金で誰もが、参加できる機会を（６０代）
- ・ 会場の入口に補助金団体のポスター掲示について、できる限り写真などで活動状況をPRすると良いと思う。（ポスター掲示は少ない）（５０代男）
- ・ 市民活動の域を越えたものも多く、行政や民間企業との連携の大事さを感じた。もっと広く市民に認知させることが必要なのではないかと思う。（５０代女）
- ・ 補助しても自立していない団体が多い感じである。２回目は自立の可能性を評価尺度にした方が良い！（６０代男）
- ・ 補助金を交通費に使用するのはおかしい。（６０代男）
- ・ 私は、中野区で本年４月より「区民活動のための政策財産」を担当し、５団体７事業をしています。例えば、緑のカーテン、コンポスト（家庭ゴミより）、エコクッキング、廃油から石鹼作り、地域ねこ活動。（NHK ご近所の底力で放映されました）本日は、自己啓発として参加させていただきました。（５０代男）

7 交付団体連絡先一覧表

部門	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援	八王子市日本中国友好協会	夏 躍芳	夏 躍芳	八王子市横山町7-11 燕京ビル3F	042-648-3534
	パフォーマンスママ「レインボーズ」	宮城 朱史	立石 晴美	八王子市大谷町773-11	090-3594-7719
	かたつむりの会	西村 南海子	西村 南海子	八王子市北野台1-34-6	042-635-8025
	わくわく紙芝居サークル	鶴島 明子	鶴島 明子	八王子市子安町1-26-9-209	042-656-1086
	ヒーリングアート・パステルカフェ	小野田 照代	小野田 照代	八王子市寺田町432 グリーンヒル寺田59-202	042-666-2102
	豆の木音楽療法研究所	永井 美知	永井 美知	八王子市館町598	090-4248-8020
事業実施	八王子フィルハーモニー合唱団	立川 富美代	立川 富美代	八王子市桐田町 1221-2-611	042-666-8550
	はちおうじユースネットサービス	串田 明	大神田 良子	八王子市絹ヶ丘1-1-15	042-632-6262
	特定非営利活動法人 すずしろ22	合津 秀雄	合津 秀雄	八王子市狭間町1994-383	042-665-7648
	NPO法人 八王子服飾センター	瀬戸 貞子	佐藤 ますみ	八王子市横山町19-7 菊谷ビル3F	042-627-6653
	保育サポーターはちっ子	小金沢 尚代	小金沢 尚代	八王子市並木町39-14 グランフラッツ並木町303	042-689-6780
	ムッシュ手づくりパンの会	阿川 好夫	阿川 好夫	八王子市上野町15-4	042-627-5646
	子どもの虐待防止市民ネットワーク多摩	清水 白百合	清水 白百合	八王子市めじろ台1-23-5	042-664-0413
	特定非営利活動法人 著作権協会	富樫 康明	富樫 康明	八王子市小比企町536-2	042-635-7023
	特定非営利活動法人 エントリー	吉田 恭子	吉田 恭子	八王子市南大沢3-2-6-103 (有)サンカント内	042-674-6704
	おおきに	浅野 里恵子	浅野 里恵子	八王子市明神町4-13-10	070-5566-5272
	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場	浅野 里恵子	岡田 清香 村上 ひろみ	八王子市明神町4-13-10	042-645-1739
	八王子学研究会	炭谷 晃男	炭谷 晃男	八王子市別所1-43-11	042-674-0769
	八王子朗読の会“灯”	小林 敦子	小林 敦子	八王子市散田町2-10-1	042-663-6257
	八王子に学校図書館を育てる会	大橋 道代	篠原 由紀子	八王子市北野台3-46-8	042-635-7756
	八王子大江戸舞祭実行委員会	奥村 忠男	奥村 忠男	八王子市大和田町6-24-50	042-642-9443
	夢あるまちづくり協議会	沼澤 仁	沼澤 仁	八王子市松が谷54-2-501	042-675-5467
	情報ボランティアの会(八王子)	千種 康民	千種 康民	八王子市山田町1956-4	080-5187-2220
	高尾の野花を見る会	石田 英夫	石田 英夫	八王子市館町493-1-206	042-666-5769
	NPO・ふるさとの食を拓く会	星野 厚子	山崎 進吾	八王子市横川町591-9	042-625-4626
	八王子子ども祭り実行委員会	横山 敏郎	細井 佑子	八王子市館町263-8	042-666-1028
きよぴー	近藤 功	本間 重利	八王子市清川町1-4	042-623-8120	

平成20年度
市民企画事業補助金
成果報告書



平成21年7月発行

発行 / 八王子市
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192 - 8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話 042 - 620 - 7401 F A X 042 - 626 - 0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
U R L <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatsudo/index.htm>

